

建設業における「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止並びに暑熱期における熱中症予防のための点検・対策の徹底

- ・ 現場で下記の項目を確認して点検・対策を実施しましょう。
- ・ 現場で下記の項目を確認して「いいえ」の場合は、改善例を参考に現場にあった対策を実施しましょう。

1. 墜落・転落災害防止対策を進めましょう。	はい	いいえ	改善例
① 作業床を設けていますか。	☐	☐	→ 足場、高所作業車等により十分な広さの作業床を設けましょう。
② 作業床には手すりが付いていますか。	☐	☐	→ 作業床から高さ85cm以上の位置に手すりを設けましょう。
③ 下さんはついていますか。	☐	☐	→ 作業床から高さ15cm以上40cm以下の位置に下さんを設けましょう。
④ 手すり等をはずした場合の原状復帰をその都度行うことを怠っていませんか。	☐	☐	→ はずした手すり等の原状復帰は必ず行いましょう。
⑤ 工具や部材が落ちないようにしていますか。	☐	☐	→ 高さ10cm以上の幅木、防網等を設けましょう。
⑥ 作業床が困難な場合は、安全帯を使用していますか。	☐	☐	→ 親綱又は安全ブロックを設け、ハーネス型安全帯を使用しましょう。
⑦ これまでは足場を設置して行っていた作業を経費節減のためなどで安易に安全帯による作業にしていますか。	☐	☐	→ 原則として、足場等により作業床を設けましょう。
⑧ 開口部等には囲い等を設けていますか。	☐	☐	→ 墜落防止用の囲い、手すり等をもうけましょう。
⑨ 囲い等が困難な場合は、防網等を張っていますか。	☐	☐	→ 囲い等が困難な場合に、防網等を張りましょう。
⑩ これまでは防網等を張って行っていた作業を経費節減のためなどで防網を張らずに行っていないですか。	☐	☐	→ 墜落防止用の防網等を張りましょう。
⑪ はしごの上部と下部を固定していますか。	☐	☐	→ ロープ等で、はしごの上部と下部を工作物に固定しましょう。
⑫ はしごの上り下りは安全帯を使用していますか。	☐	☐	→ 親綱又は安全ブロックを設け、ハーネス型安全帯を使用しましょう。
⑬ 脚立には開き止め金具が付いていますか。	☐	☐	→ 脚と踏み面の角度を保つ開き止め金具が付いているものを使用しましょう。
⑭ 脚立には十分な広さの踏み面がありますか。	☐	☐	→ 作業を安全に行うために必要な面積の踏み面があるものを使用しましょう。
⑮ 脚立の支柱の下端には滑り止めがありますか。	☐	☐	→ 滑り止めを設けて転移を防止しましょう。
⑯ 不安全行動を見た時に、すぐに注意をしていますか。	☐	☐	→ 不安全行動は災害につながりやすいので、すぐに注意して改善させましょう。

2. 車両系建設機械等による災害防止対策を進めましょう。	はい	いいえ	改善例
① 周りで作業している作業者に連絡していますか。	☐	☐	→ 作業計画を立て事前に関係者に連絡しましょう。
② 立入禁止措置はできていますか。	☐	☐	→ 建設機械等に接触するおそれのある場所へは立入禁止を徹底しましょう。
③ 不十分な立入禁止で車両系建設機械等の近傍で作業していませんか。	☐	☐	→ 立入禁止を徹底しましょう。
④ 立入禁止を十分認識せずに、安易に立ち入っていませんか。	☐	☐	→ 立入禁止を徹底しましょう。
⑤ 立入禁止に替えて誘導者を配置し機械を誘導していますか。	☐	☐	→ 誘導者の配置を的確に行いましょう。
⑥ 誘導員を配置していたものを配置せずに実施していませんか。	☐	☐	→ 誘導者の配置を的確に行いましょう。
⑦ 不安全行動を見た時に、すぐに注意をしていますか。	☐	☐	→ 不安全行動は災害につながりやすいので、すぐに注意して改善させましょう。

3. 熱中症予防対策を進めましょう。	はい	いいえ	改善例
① 暑さ指数（WBGT値）を把握していますか。	☐	☐	→ 暑さ指数を把握し、休憩をとる等の対策を進めましょう。
② 水分・塩分の摂取や不調者がいないか確認していますか。	☐	☐	→ 水分・塩分を摂取するよう指導し、労働者の体調管理を行いましょう。

4. 安全衛生教育を徹底しましょう。	はい	いいえ	改善例
① 新規参入者教育（雇入れ時）を実施していますか。	☐	☐	→ 教育を実施しましょう。
② 新規入場者教育を実施していますか。	☐	☐	→ 教育を実施しましょう。
③ 職長教育を実施していますか。	☐	☐	→ 教育を実施しましょう。
④ 建設従事者教育を実施していますか。	☐	☐	→ 教育を実施しましょう。

（注）厚生労働省委託事業により、「建設業職長等指導力向上事業」が実施されています。（能力向上教育に準じた教育です。）